

## 9 介護人材実態調査

### ① 調査対象

#### <訪問系>

訪問介護（ホームヘルプサービス）、訪問入浴介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）

#### <施設・居住系、通所系>

通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション（デイケア）、短期入所生活介護（ショートステイ）、短期入所療養介護（ショートステイ）、地域密着型通所介護（デイサービス）、認知症対応型通所介護（認知症対応型デイサービス）、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

地域密着型介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、特定施設入居者生活介護（介護付有料老人ホーム）、住宅型有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅

#### <職員票>

訪問介護（ホームヘルプサービス）、訪問入浴介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）

### ② 調査方法

郵送調査

### ③ 調査時期

令和4年12月26日～令和5年1月13日

### ④ 回収率

#### <訪問系>

配布数	有効回収数（率）	
73 通	36 通	49.3%

#### <施設・居住系、通所系>

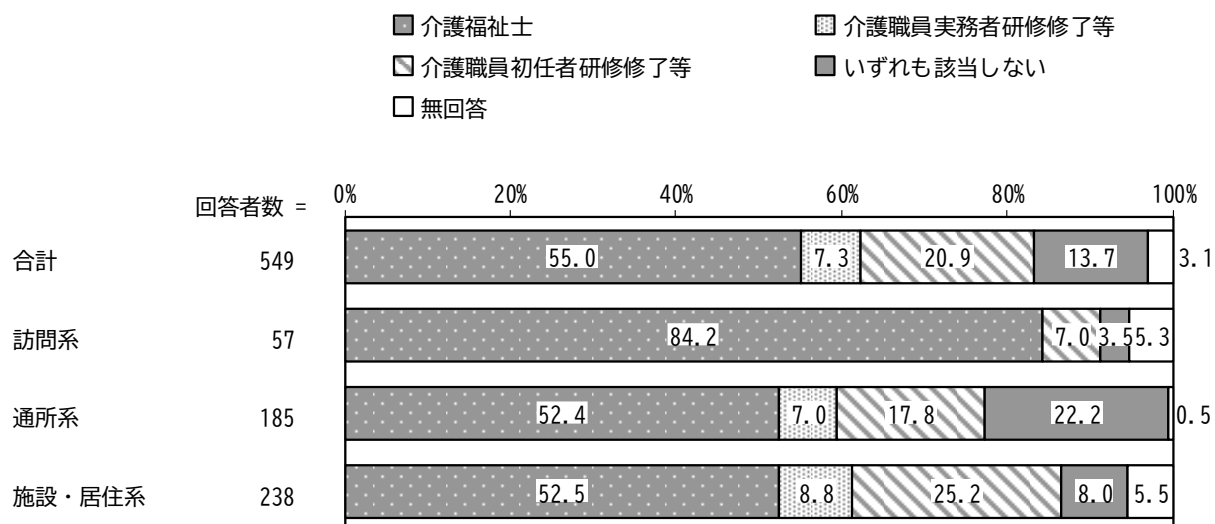
配布数	有効回収数（率）	
129 通	43 通	33.3%

#### <職員票>

有効回収数 57 通

## (1) サービス系統別の資格保有の状況

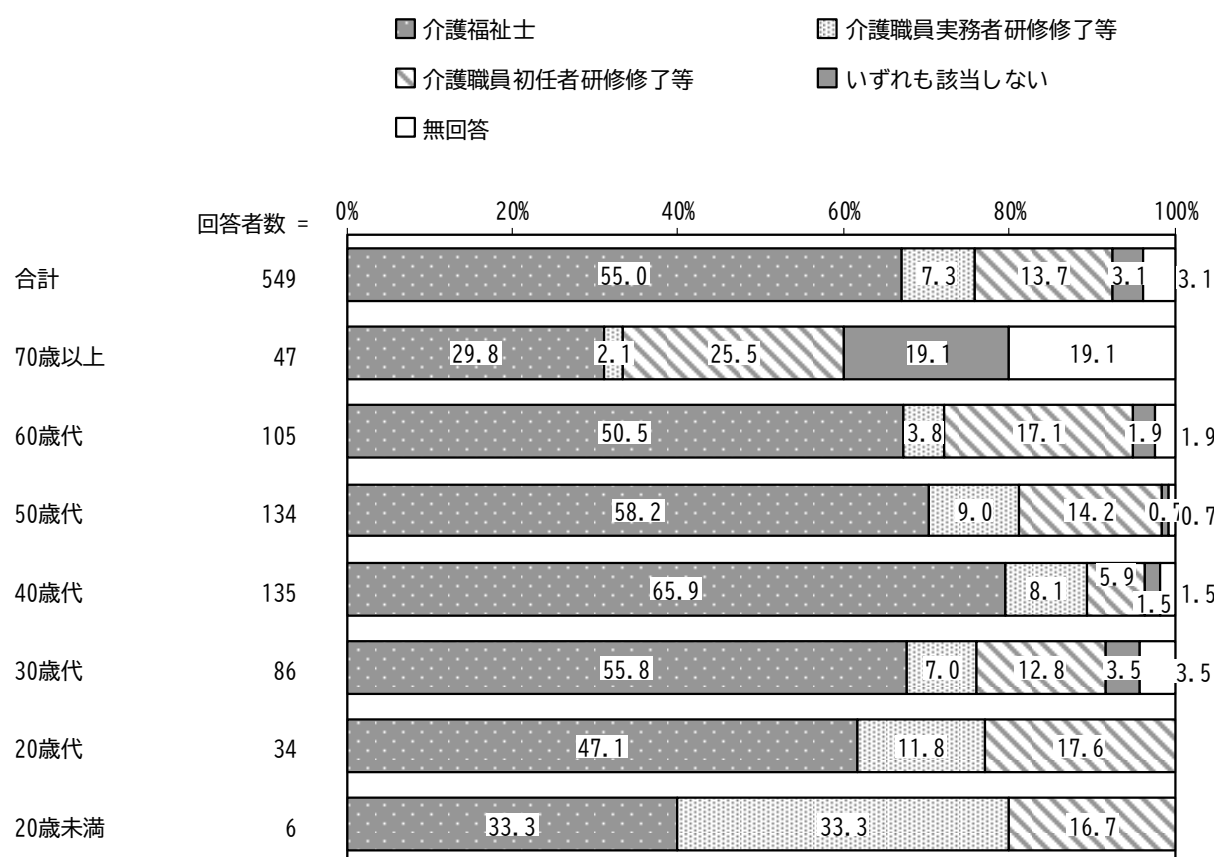
介護職員の資格保有状況をサービス系統別にみると、介護福祉士が占める割合は、全体では55.0%、訪問系では84.2%、施設・居住系では52.5%、通所系では52.4%でした。



(注)「合計」にはサービス系統不詳の方を含めています。

## (2) 年齢別の資格保有状況

介護職員の年齢別の資格保有状況をみると、40歳代の職員で介護福祉士の割合が65.9%と最も高く、資格を有しない職員の割合が5.9%でした。また、高齢になるにしたがって、介護福祉士の割合は減少しています。



(注)「合計」には年齢不詳の方を含めています。

### (3) サービス系統別の正規職員・非正規職員の割合

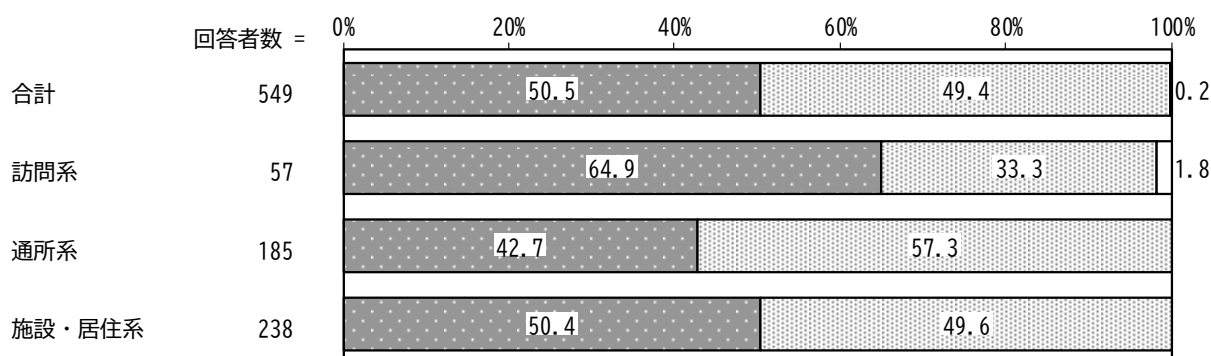
サービス系統別の雇用形態（正規・非正規の別）をみると、訪問系では正規職員が64.9%と高い一方で、施設・居住系が50.4%、通所系では42.7%とやや低い結果でした。

職員1人あたりの1週間の勤務時間をみると、すべてのサービスにおいて、正規職員の勤務時間が非正規職員の勤務時間の約2倍となっています。

これを性別・年齢別にみると、訪問系では60歳代の非正規の女性職員が高い割合を占めているのに対し、通所系では、30～60歳代の非正規の女性職員が占める割合が高く、施設・居住系では、40歳代以上の女性職員が占める割合が高くなっています。

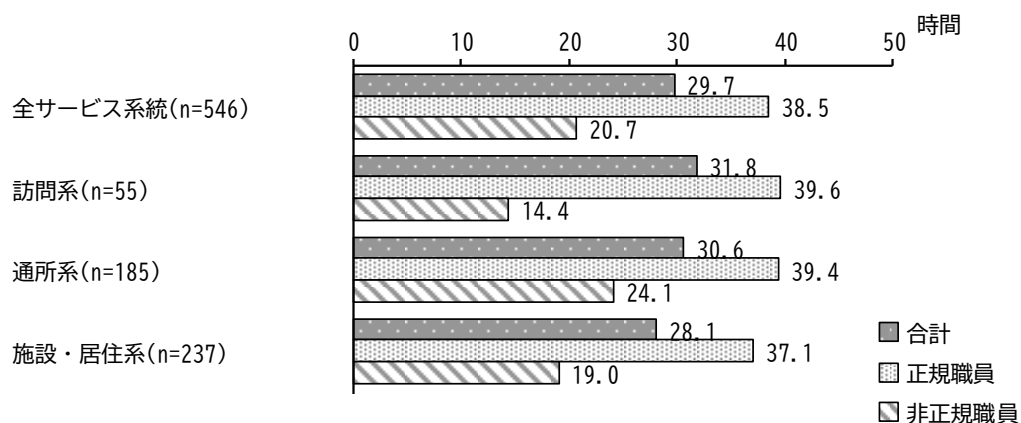
■ 正規職員      ■ 非正規職員      □ 無回答

【サービス系統別の正規職員・非正規職員の割合】



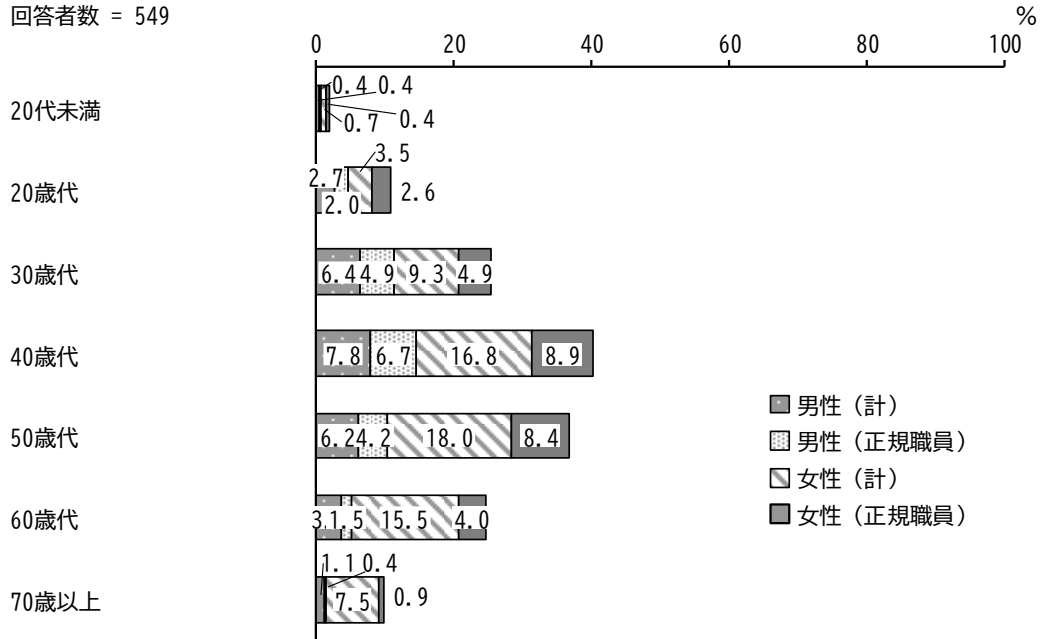
(注)「合計」にはサービス系統不詳の方を含めています。

【職員1人あたりの1週間の勤務時間】



【全サービス系統合計】

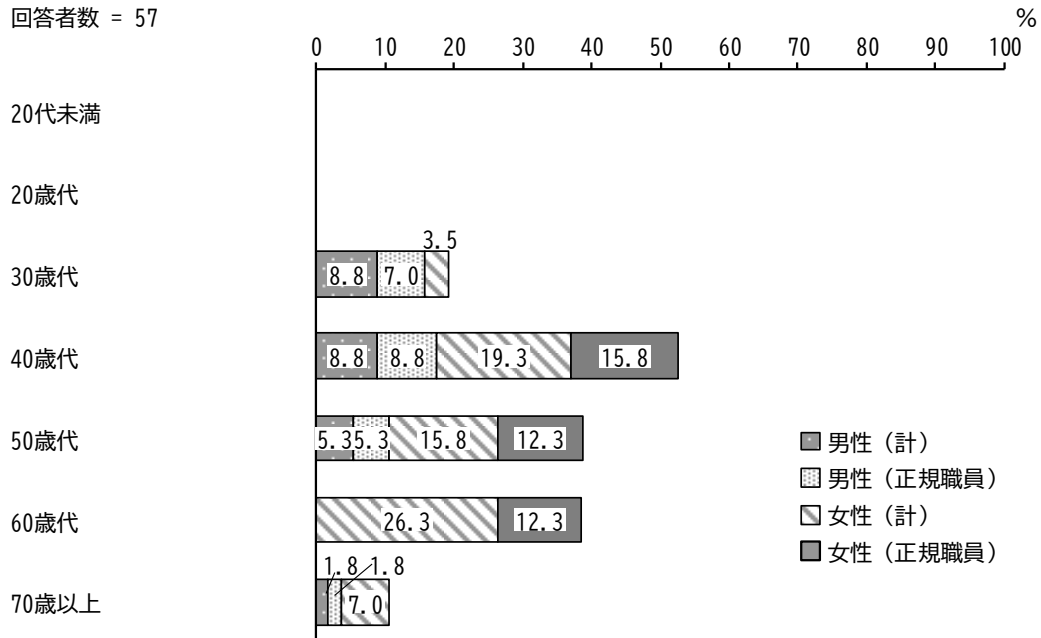
回答者数 = 549



(注) 分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

【訪問系】

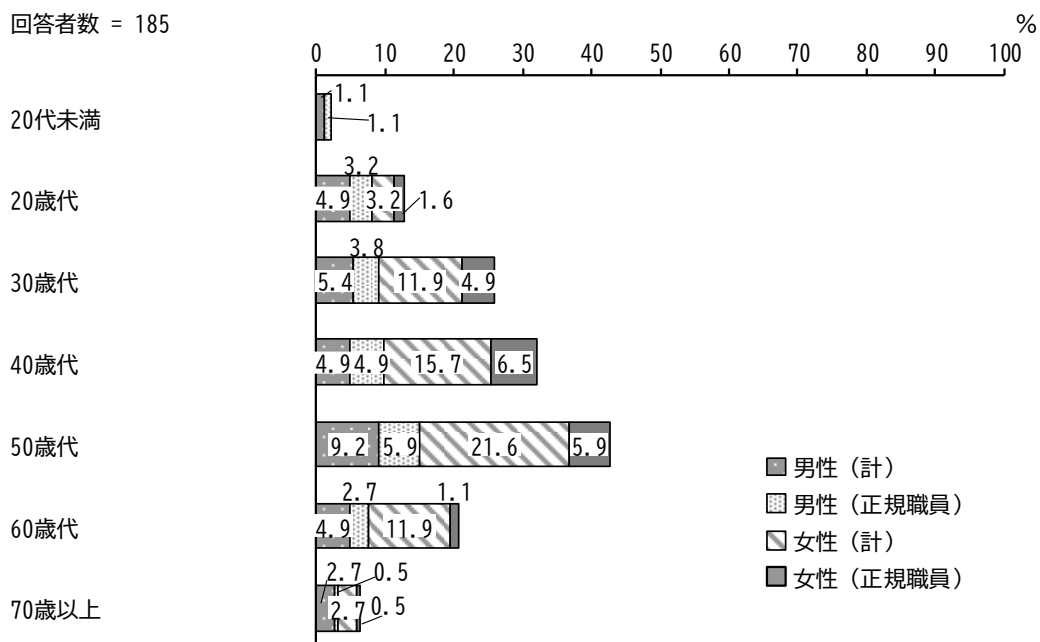
回答者数 = 57



(注) 分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

### 【通所系】

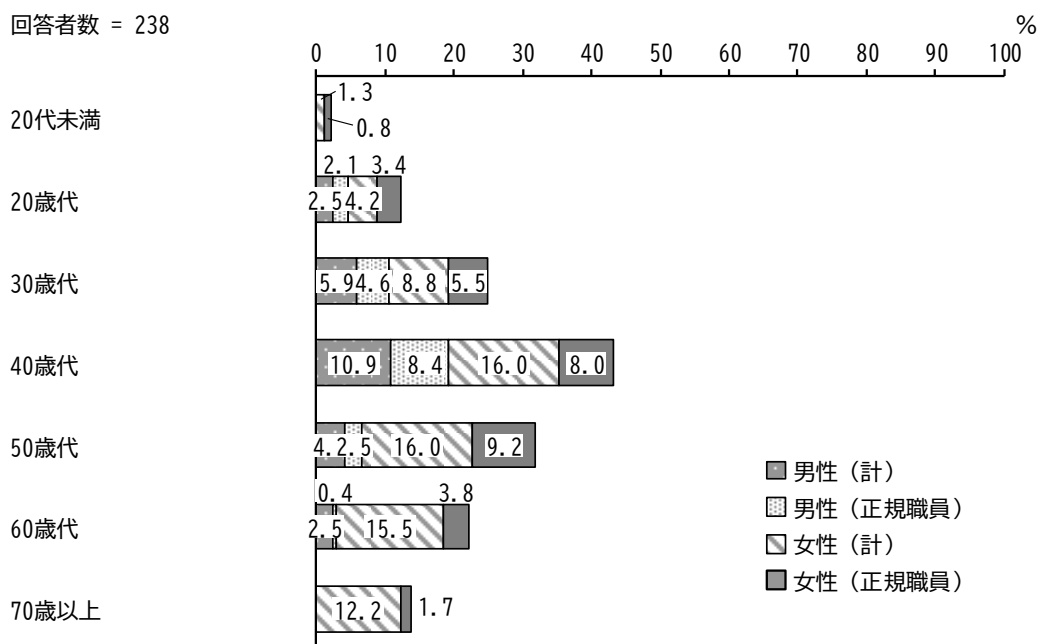
回答者数 = 185



(注) 分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

### 【施設・居住系】

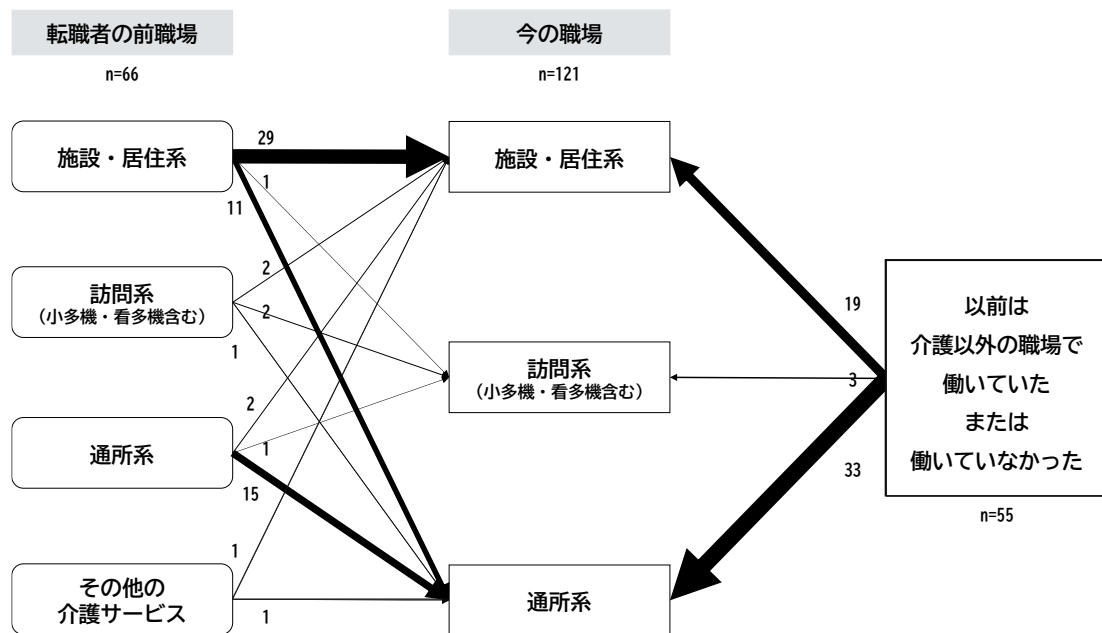
回答者数 = 238



(注) 分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

#### (4) 過去1年間の介護職員の職場の変化

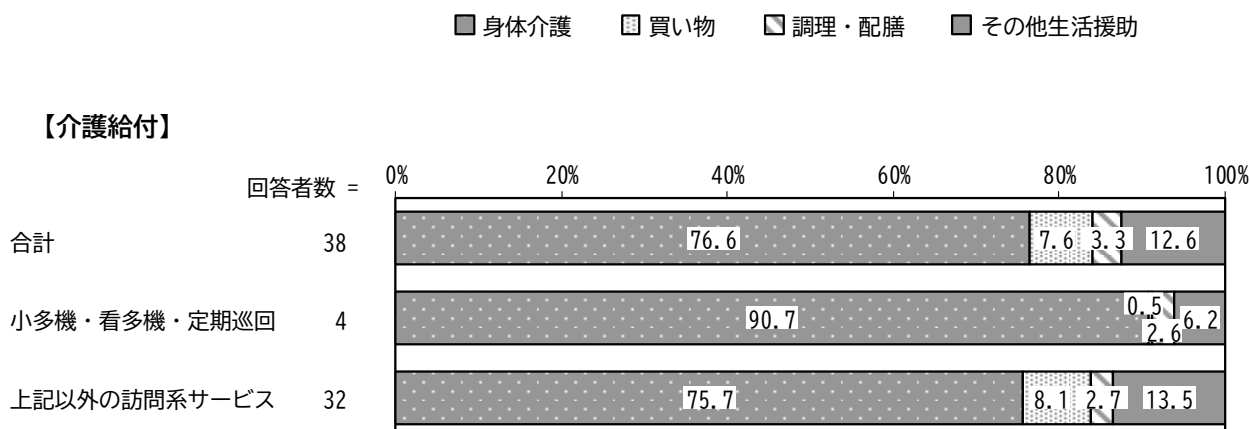
過去1年間の介護職員の職場の変化をみると、多いのは、「以前は介護以外の職場で働いていた、または働いていなかった」人が「通所系」、「施設・居住系」の職場に採用される動線、「施設・居住系」間、「通所系」間の動線などです。



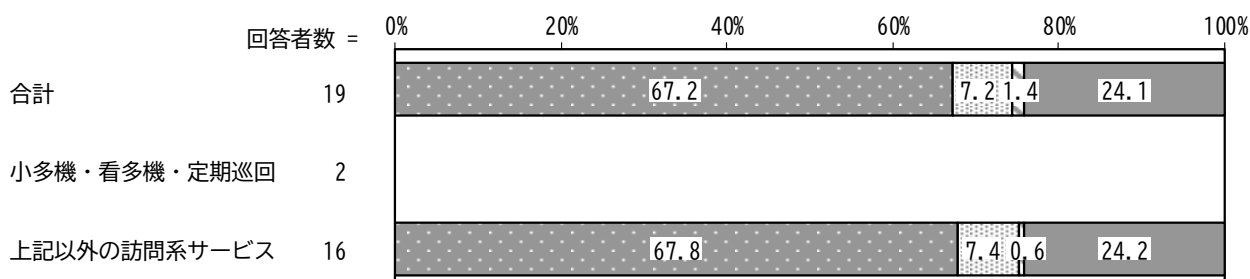
(注) 上記の分類が可能となる全ての設問に回答のあった方のみを集計対象としています。

## (5) 訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳

訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳をみると、介護給付と予防給付・総合事業で共通して「身体介護」の割合が高くなっています。



### 【予防給付・総合事業】



※総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。  
 ※「合計」にはサービス種類不詳の方を含めています。